「理するものである、また國際間の一致」、この種理論はよく中國々民の心理」。好の彼岸に到達せんここを希望して

自支炎渉に

一來る限

任を盡したこと興論は等しく中

は今後の掘り筋目風潮に一部形職。以て種泉交渉に費せんとしてゐるせしの國家の割日懸備を加つた點。は鍛造問題の責任を日本に鞭撻し 後に日本ありとの印象を強く歌戯| 意を加賀に墨露したもので支那側

合理的判斷である、日支交渉の

被東の 宇闌に

國民を煽

中央宣傳部、聲明を發表

明は國民旅部の歴度を内外に明示「弦を失いつくありと闡明して、「原星廿日同盟」中央宣傳部の器「供総生により 南星交渉は底に食

南京交渉に暗影

決定したい意间であるが軽縮

東京部画、政府は南洲國民聖討 剩餘金支出

すれ日夜同代理大徳と向見し いるとカズロソスキー極東部

角米諸國

革命政權承認

建基野使局長 中村 最安東郵便局長を命す

行や面倒だ。 ざつくばらんに耽さ

が生えもやア事だの から水ねえご

直作

133

タイムスのサンチやコ特

進一



副司令真王と連名で十九日國 华十日回 蒙古证据可令德

地方分散を圖

啞濟情勢に對應

官民委員會創設、具體案を作成

7.力者を網維して委員會を設備すべくこれが具體炎の作成に努めてあるの異異さの準理の跟聽職性主義の地方分數を同る認要に自られてあるので、本府は近く官民の異異さの他の聯聯で暫職地場中を飛艇できれてゐたが、 見下の主意の試機繁則と聲山態から真実は耐水が通じの他の聯聯で暫職地場中を飛艇できれてゐたが、 見下の主意の試機繁則と聲山態 研究されら性子となつてゐるものは

未解決豫算折衝は

報音の意見一致电子 ・ 一致の意見一致电子 ・ 一致の意見一致电子 ・ 一致の意見一致电子 ・ 一致の意見一致电子 ・ 一致の意見一致电子 ・ によって国軸解決を希望してる ・ とする事務的対象の数字を中心 とする事務的対象の数字を中心 とする事務的対象の数字を ・ によって国軸解決を希望してる ・ とする場の事動主 繼續費の點で意見一致せず

・ 要称省保弥については慶時日 のみならす離假質の酷において 委戦と随相無統領について戦府は、 要称省保弥については慶時日 同等理具、 報何安定施設、 報書 同等理具、 報何安定施設、 報書 日等理会、 報告

開議 紛糾を来て供れがあるので 治館解 決に使つ の外な くこれを | 所その他に関し 改善・接の申出で とったからよって結局 | 弦複算については吹 | 二十月夕剛政女舎より帰継時期間 | に表示前移 があったので勝田西記官長は直ち

答へたので右継族態後に開かれる

郵府 三正の本流した結果南米流園イタリー 南國政府がスペイン革命 旅館よりの報道に依ればドイツ 説は一進一退で著し 【マドリッギ二十日間温】首連編

被除郭便高長 見工度の関係を表現。 安東郭便局長 清川 安東郭便局長 清川

横川 唯治

見越づくめだからいヤンなつもまりられわえのか。御殿者で失鱈にけられわえのか。御殿者で失鱈に

服頓

築や

外かし突然女

手を狙けせる

りて廣大强化を圖り、更に最近の内外多端なる諸情勢だけ、こうに歌館の襲撃を引きるとを称ぎて脚手を避て編輯、答案、 より本紙の、朝鮮な

政治經濟に新局

經濟記事については南郡信の産業大開藤の方鉄に勝じ、内地県 知らんとするものにどつて見逃せ 下に政治及び經濟記事 "、たが、「中では、ことなるものなれば、「中でいれた御手洗剤配長が全帯力を懸けて損害し、各権企一長と複雑化して、 に力を注ぐ事 言

聚氏 (代議士) 人城中

京上り鶴城 上氏(明鮮油)||聯連市長

百感氣ぜ^{心臓性} ででで でで でする。 で同なる

+

主治效能

(理) 世五日分志円、百日分拾円 第四、十五日分試円、四十五 1日分五円、四十五

離氏 (鮮泉理事 二十

題味と開整状態

長 廿日節

學の紹介説明及び奇抜な新知識の報道に自りを生態味と崇離にありては、科學時代と誰せられる現代に避するされ 活に必要な諸事項を主とし、また解人界の消息を順下を振大し、「非味と思想職」を消むする、婦人職には家庭に

术 ーツ欄を特設

ス

たまく、選手のまつだのであら

[:]

りあ物セニ◎ ふ乞を定指御とLンイロベス】

=

朗明春

त्रश्चक

力で行くのさ た余時は、も 何事もあとの まする。こ

大阪市天王寺區の一五番館、東、田、紫、園、東、田、紫、園、福替大阪七五一四番館、村、田、紫、園

の節は直接本舗へ御めますが、萬一品切の形は「取次がれて

『スペロイン』は全

廿五建新鮮四拾五銭要をす 全國藥店に有り

申込下さい

英政府强硬

残され て行つ そ行く足質

愛力朗らかに



通告を振受すると共にイーデン

は直ちにスペイン駐別大使チ 表を提出したと睡聞する。

京支社通信部の擴大强化 人と家庭擴張 近明経々盛んと

人は田舍者?

樓上町の强盗追跡急

殿品を發見

下頭的器を中心に各書が認力収入でに犯人の目がもついたらしく目む、関系拠進和財政は耐められ、す

被害品に似た

バ發見

日續のお休み

無難の太鼓

今秋行樂の最終日?

総、最近に包含のマダム連よ、よくこの岩久和の顔をお聞き下さい、これは銅漱の岩なが動脈を贈ぎ立て火流さるものかはと和の校庭に満頭げた短線弾デスゾ、節、階、深の各組が、今たけなはに難断添続を浮熱にやつて居ます、テレビと共にお聞き下さい、(岩沢はその勇ましい競技)

が握さ辿つたテス、毛茂の縦に埋れて『アー巻い』と倒行くブルの被駆から複雑だる名女の縦動す機能に合せて頂ましいコーラ

旅所更繁人氏宝 る久保山診 を掘つて原玉時ジャ

科に収容されたジャ 九大阳湖病院後原外

ると思る。 しかし れば完全に駆着す

一、三週間もすれ

ビート泥棒は去る十八日夕刻景域上げぶ起した魔を願へた、このスとけぶ起した魔を願へた、このスを持つて反抗するのを柔道で締め

氏は気外工工で耐氏 に入つた。ジャピー 風着、直もに自動車 時空神鶥者、直もに

けさ福岡醫大病院に入院

の実大、二十一日朝紀を到す南山道の下で三坂の京城第二高広

◆──京城二高女の競技會

◇寒風に踊る制服の處女◇

騒がせた標上町の弧鉛線人は府内 合著の元常ベルが鳴ると同時に、

は な機能を行った結果間を散戦に至した機能を行った結果間を散戦に行った。

らすべくヤスリでこすつたあとが

に**通**じた者

2?一九三六年の秋も歴後とハイ間きの廿二、三日のお天涯はいか

本明署では以上明量総事門題生と

。 随では他居せず、遺屋等でよく権 柳長いもの で普通3家 長さ約一尺位の一般難に努めてゐるが独人の思語は

『類、異刻廿日の夕雨口の京城を しふ

『磯の下りてゐるのを注意せずに突破するなざ誇い質い。論なを無難ずから太事を認着するもの振気ますと、解射のカンの機能を含いてあるが、心脏の事故は自動車運・頓手が無謀にも列車と、就走したり速に至めてなる にまれ 旅客に非常な迷惑を與へてゐるので、應思、通し繁寶婚切の自動問道、是「疑い間所にはフラックを々にされ 旅客に非常な迷惑を與へてゐるので、應思、通し繁寶婚切の自動問道、是「疑い間所にはフラックを々にされ 旅客に非常な迷惑を與へてゐるので、應思、通し繁寶婚の自動問道、是「疑い間所にはフラックを と しょ 機関車が毀れたり、ダイヤは滅遁局では去2月以来上他に北上一部「皆りの別県と前野の選手」を明明してあるが認正は機に取得して、その生故は自動

所名新たま

ならすのを調やしたるのち通い学へし云々」を質なさせ交通に会称に加了ことになった。 一般に自動権政・維持を依頼し物に自動権政・維制が入土に依の「強勢」は『意立くは真道の統則を通過せんとする場合に近いて一たる停車なる。 おお (同及び各)道警察が前に 厳重自動車側なって来たのでこの重大部に破する。維持して、三月中に再度、神秘、同及び各道警察がに、厳重自動車側なって来たのでこの重大部に破す。

警務局各道警察部に對し

踏切り注意の勵行を迫る

士二月二士二日に愛婦主催

婦朝鮮本部では本所型が局で放送局では皇童の巻祝昭歌の巻祝昭歌の巻祝昭歌の巻祝昭歌の巻祝昭歌の巻祝昭歌

勢行

が城舎力の金塊器療器駐事性は引 京城場治町二丁目地金商一幅事的を扱つた時記様不十分で 昭和七年以來の犯行

は昭和七年以來四年間に置り、今の 形事部長等が調べてゐるが、事情 さついき本町署二見前法主任平野

支担郷に命じたが高家も朝印入

そばの梅鉢全焼 珍盆栽干五百圓も丸焼

朝鮮事情の紹介

無色小重 物 紋 紋 地付入付

りもに店品性市・店集・トーパテ各 社合式は水香醤金

う開始 だが。 に 関い

Ų

豊富取り

丁備隊

综合同物的建設はその後組両に延

施政計五間年の記念年業の一たる。本、象別以上の好果を察げ最初本

府、記載した影別並行再回は度定

京城府本町二丁目

で京城名物の一つが増えること

た上で総合機物師に発験でを決定 のて、特が開始される単原とこ

廿一日朝の概況

| 日本タイプライター養

腕腕懷 時時時

化键

社會計時ムサルオウ國米 **番三十八面 苗科局便郵**央中京東

轉案內

と生徒

イター自動に温の南大門通丁子屋隣の日本名

魔の中省省有渡及以下十名の単純的著を出した。高館籍に取出で配けつけた公宮、東海の手名を受けてある東クで出動流行の途中、同三應ころ三浦紀代国附近の坂路に窓かよつた際トラックの巡嚥を譲り日末路の際に「「「

動意行の途中,同三時ころ三部解発に附近の坂路に発かるつた際トラックの画際を関り二大部の原序から真連程に険器し、部一時ごろ十四直書前位に金月二二等の威胁が突襲したとの急襲に同した着気地震守備院では同長以下()名、震兵〇名がトラー

隊員中に十名の重輕傷者

建築原式 別のため田野中で本月以下ご名は内地各地における各幅

(ま日八十二)は日二二 (山路服 吳京 二 (七季 本 無 立 仕 (に到殺物立仕とるなに末々年例 仕奉念入も最内の今只みがんか 町本 日 加 吳 田 平 城京

僧に通してみるものとみられてる。 起したらのと無り犯人は同家の事

日城

タイプライター 旭町二丁目三越左

文

ħ

4

E

製地は不好後壁の現在鮮版四場的 野スに取行する像是である、たほ

田中通譯官の史話・地元の接待曇りでも決行:雨なら二十三日

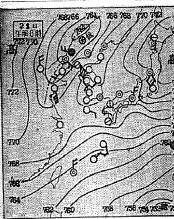
【明旦】 北西の風景後暗 「明旦】 北西の風景後暗 「中地方」(今晩) 濱西の

した宇運い曲者でその被害も相當 部の住時形を鎌み陣の質量に入質

フィヴ、ハイキングは源貨となり 一、當月本社では受付けません二十二日の本碑主館の預設由城下 一、貿員徴養の数字と同じ寄襲の **會員の方へ注意**

配く二日の休みは上天行とまでは ゆかぬが今年最終の行號目和とし まづ無難の太鼓側にから御欠心をてはまづく~無難だらら』といふ

行業の秋、昼後の日曜、祭日二日 | 度でつくんで居り低速形はハルビ 一線が走つてみる。このため半島は「火阻近にもろつき南西方へ不連続 ップとして月刊「本町」「軽行印



かぎれ・凍傷に頗る良し、神經痛・火傷・切傷・あ傷・疫・産前・産後・痔 朝鮮總督府尊貴局拠造

朝鲜 武高製ル社造





































の陸は推測つかない獣族である

提待に當られるとになりました茶などを沸かして本社の資具のは面長以下面職員總出で特に湯



今曉二件

 0

風

寒

鎮南浦埠頭スケツチ

人選が限に銀頭して一所に集ま

【新聞刊】十九日午町七時ごろ宜

密輸の根城に赴き

ない。 おり十九日来殿東東調べの結果。 は観光で、といい三ヶ月期開東が一たので蘇邦多数あるとにらみ目下に活動したが屋の聚動に不認の點 | 男は智能的科一郷所内西域里・〇 を授賞したところ緊急数點が現れ

同署ではこの極低最適の超越に鑑

で競量 当分する方針であるがとん

密行中の捕物

清掃の熱辯揮

深夜徘徊者は匪賊と見做す

安東署の國境淨化

吸と目されてゐる五道階と六道勝一近の江岸一帯における鉛像業者の一

 ○連絡を保つて影響の清掃に廣心 ら明け方にかけて作働してなるも、安康等では影響者の機能とくもに と断方を観逸に入れて隠匿してあいています。
 ○連絡を保つて影響の清掃に廣心 ら明け方にかけて作働してなるも、安康等では影響者の機能した。なほ 天井や床下などに多數のモルヒネーのと相談して財産資料の翻測工。與へたのも影極業者が連絡速量の 配するものであると力能し影響の 同時に深定変更の結果オンドルのと関極を保力が進発を表す。
 「新春州」新渡地勢の影響を締備」の住民を提示し診を提起の訓示を一起察化は至く安養國境の治安を機一数が驚み込んで飼入を逃弾するとします。 **響殿詩代の出動に際し語彙の様 | 個に出づるべきを告げ、記後に応 | り目下各方面と交渉中である | 生れ南山町居住の千倉渓でこと進てゐるが十入目、田上安京巻長 | のに転しては睥睨と: 壁し衛手屋 正美俊麟の工作を述めることにな | 名を練規押収したが、殿は山東省**

船底に縋り漂流 傳馬船が突風を喰つて顛覆 六名溺死の悲惨事 格をとり安東勝新民国から密轄人 ご群川府小池西亞場外交別協策善 と密質してゐたもので目下留置取

扶餘の强盗 在言と判明

所有の長を二十尺幅六尺の假思船 | 変語の李賀氏の船を認めたが派ぎ川野南皿東古海金圏亭さんは自分 | めてむるうも通りかよつた定州郡 第中、文四洞波船場を去る海上九一死路の氏名は左、通り に同郡南面文四洞郡成而さんほか一の上宇な金國学さんが一人救助さ れただけで他は金馬筋死した。頭 他は行方不明 なは超失婦の死體は健見された。 韓湾党▲長男金奉華郡連囲川郡祠金北賀▲同人の妻 人の姿態氏▲長男趙光器▲官川▲官川都南面文門河趙印派▲同 大郎に急落傷を買った 川箸から薬田署長自ら現場に急行 を頻繁されたとの届出に疑し、舒 機能すると共に腕利の形革が一層(蹠した松木全角道知事は二十日道)

五名を乗せて経南血線腰洞に向ふ

來月上旬臨時道會を開き

慶南道の災害對策を審議

無残や三人兄弟 スの衝突

名即死他は重傷

密賣買 怪支那人を

門二季遊島を大郎に向け接近中版「邪、回長女(さ)と長男(さ)の所名」るとを採知した大郎器では食て棚舎スス(殿北九八七雙)が窓客「地の水田に墜落顔道し飛露の大碗」「大郎」屋近荷内にキルヒネや岬の水田に墜落顔道し窓客の大碗」「大郎」屋近荷内にキルヒネや岬の水田に墜落顔道し窓客の大碗」「大郎」屋近荷内にキルヒネや岬の大郎「大郎」で、遠ば相 | 織版事業とし復都費百五十一萬九 局の災敗後悪災は本年度から三年

ンで互ひに遊けようとして遠一とん磁につき懸された、なほ憲山「不郷を抱き十七日午後八時ごろ器」記込であるが、大途その内容は左(魔北「八九豊)が夏逝して「は印都磯のため一蹶にして忠談の「四支那パン開談平世("心の郷郷に [暉、十三年度四十萬三千二百囲の |五千九百十四圓,十二年度六十萬 これが年度到は十一年度五十一萬 千百十四回を計上してゐる而して

定した本年所有の風水器に對する 要大高九千五百國、十三年度大 (大高) 千國 高三千圓) ▲等外道路央書復語 英三千圓) ▲等外道路央書復語 東 六十二萬四 (内部十一年度 本小漁選英書復習費 六九三千-園 (内部十一年度 園 (内部十一年度 日本)漁選英書復習費 六九三千-本・漁選英書復習費 六九三千-「一年度四十-「一年度四十-「一年度一年 「一年度一年 「一年度一年 「一年度一年 「一年度一年 「一年度一年 「一年度一年 「一年度一年 「一年度一年 「一年年 「一年

▲砂筋魔殺災害復善費(六萬) が記上されてゐる

白書盛り場で

金を照奪 安東ですぐ捕つた

大膽無暴の馬鹿者

理能に耐業整飾なとして約4萬里なほこの外来年度は時に種初の給

| 数字のでは、中央銀行から歯 | 売州港で運搬作曲に手配中の働者。 根壁で形型 こここにもこうこと びているのです。 でないないまでは取り金巻をプラミ | 文の削金を詐取してゐたもので新 でななくば主に魅けられた、陶器の食中に落ちてゐたのなくがでいる。 では (数音の食中に落ちてゐたのな) れたい。といはれたので財産協働、記憶を全てた大陸無駄さに営品も 真理光常さん(こ)が中層館の中央 | ごといび
語語州府内で洋服の修繕 に呼び止められ「緊緊まで同行さ」ある自認の盛り場で大金量群の法 万勒半町の地間で監禁の朝鮮人男と判項したが、交通登士の立つて |安東市集団総都の両士開始の5|| 常原東近州皇井町津庭西郷東谷(三十八三)(1987年 | 新春州 | 十九日子後(唐五分) | 瞬の末端神した,現人は平南生れ | 平場路ムの単鉄度可乗出版の五分 岩 子 | 上の | に見られている | で見られている | で見られ 域器で選進したときは既に拾はれ 今朝吉さんによって直尾よく態況 ので、風が持つていつたのは全く て済し主に届けの宇宙中であった しまつた事件はその後間もなくこ 歪をかぞへて あるう も十回れ 白枚 【語臺州】胜報列事内の便所でお 少女が指揮者に忍び込みな母生の

て 響んでゐる 後の祭り的職党、落し主はいい証 羅暖堡對岸の

の方に何を並べてゆくと件の男は

呆れてゐる

羅南の一初雪

地面も凍る

王るや矢庭に離さんから金型を畳 い方面へ連れ出し無公器の裏手に 警察とは方角の違つた人通りの少

に異つ白になっても米だ羅盧地方に異古の山嶽

宿舎荒し 女學校の寄

【十二日 所内上水口里児童な學校 一子から一時間を置したが十九日午 一乗地へ引揚げた 等の一蹴二百餘名は日南於伐脈の 医財際に現れ市街地を殿殿を 「飯鹿」 智辱の共配金日成と門引一後一味半壌十四道勝凹も成立 |子回型の掲束を健闘から落して||設置にしてゐたところ十九日子明 から三回に置づて同答賞舎を荒しまった事似はその後間もなくこ | 十階全銭局板生態を築つた一名の たものである | 假が膨生するので同校では監破な、子でと||個名||といり去る十六日常電舎内に最近職々として綺麗事。所内崎九里一一六杯昌一の四女淑 率ひ特主にかつる

出るのを同校生徒が認見、取伴へ七一申売郷方から出火、温雯 平勝路につき出した、この少女は を嫌いて誠火した擬黙五十回 唐物敷職と現金六圓五十錢を添み。十日午前十時十分與府內大和町一 巾街地震擊 討伐隊に逐はれた 開城の小火

共匪金日成の一





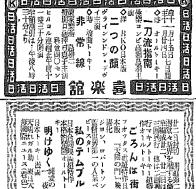


图 日活日活日活日活日活日活日(例







Taller of the state of the stat



るずに夫丈を靴

本 (中世 東海 (中世) 中央 (中世) 中世 (

廿五周年を迎ふ 秋季演習をかねて 盛大な記念式擧行

咸興消防組

「ははんとうの仕事は出来た心を が求めそとを根據地として英語 が求めそとを根據地として英語 が求めそとを根據地として英語 ははんとうの仕事は出来ない。

|脳知事窓で左の如く經暦を踏る ||◆: 松本知事の抱負

の資庫で海に壁に無限の資源を である、が然し全般的には未開 である、が然し全般的には未開 である。が然し全般的には未開

が扶除護山から集金した三十四国

先づ畜産改良が必要だ 漁業も将來大いに有望

年飛務所を出たばかりの指で家宅 | 競鱼に取調べてゐる 現職警官の瀆職 元司法主任ら一味五名に 嚴然判決の言渡

出したのでこれを距離が通門附近。けた金売簿の主張は答れられず二。同金売跡はこの戦後を不服と出したのでこれを距離が通門附近。けた金売簿の主張は答れられず二。同金売跡はこの戦後を不服と

馬は兎のやう

贋債券にご用心 月賦販賣して歩く怪しい男

者を召喚取調べを行つてゐるが、 - 質り建るものがあるので大郎等 大郎「最近府内にインチキに数 は植力組入を捜査する一方被影 一徳行、常選者左の通り 石田嘉太郎、蹇韓畔」、阿部為「四・ナイテット 社蔵等作日本版集 古田嘉太郎、蹇韓畔」、阿部為「四・ナイテット 社蔵等作日本版集 古、細島孝文郎、蹇袞政 、 松 督ウイリアム・カメロンデス作品・知島之助、大久保韓四、神谷六 『深るべき世界』 ギョレイモンド・ お覧 ご サー・エー・ファイ 人民 じ 登 『空音 『・ 」 大邱署躍起の捜査

剽館 [日] 十九日から三 シネマと演劇 水原劇場(水原)は一、

宮をもつて三週乃宝玉町を削柄せ を押した証数を修造し出級員が肖 右は大阪に本鎌を置き大原省の判

「眼太者サーカス「月田一郎主演、 となり、第一晩端親大作・トキー などり、第一晩端親大作・トキー は、地方のマーカッドを であばれた協差に 編門光三郎ごニュー 脚「海底の黄金」附後隔、西部 つ週間(改を1回) 偕樂館 【も

二 (料金附上六十銭

【茶山浦】型組織は延歩は二十日

榮山浦學議 當選者

(都現代劇一篇 (料金階上五上

列車から落ちた十圓紙幣

天年大政党』ユーナイト新町師「日間、バラマウント大作『一九日間、バラマウント大作『一九日 無難 に 大郎』二十日より

ス床で理覧中の道立

ひやかせば、博士

藤商



















本月は 状が家 パラマウント 大人五〇ダ年小人二〇 中国院ニュース 一国院ニュース 1 ルーガートルード・マハーバート・マハーバート・マーシャ記特件パラマウント記特件パラマウント記特件 **些弱場場別面映草若信寶**

用他の



壤

業 燃

部

製

造 廠

一穴煉炭

軍

部連クロ **体耐燃操燃放** 裁久儀作料熟 **腹保完簡節** 絶 美証主需切大 底理代聽

用兼事炊式永富

京 城 岡 崎 H Ħĵ

軍話離山八一五番 商

會





電本(2)3101 改正

炭

三井物產株式會社

向井言治商店

京城義州通り一ノ九一

京城支店發

比無質品

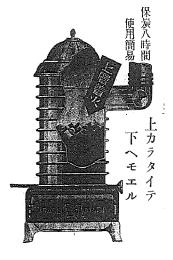
三穴煉炭 セツ

> 鮮 內 地 沙 國 院

日本製鐵銀 治 業 棑 理 式 會 店 社

重二許特法 燒 燃 止防煙煤

トス丸の日

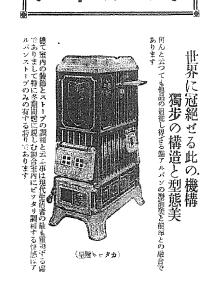


店理代總鮮朝 驛 城 京

部達用耐版出重三

の用應的理合を置裝生發斯瓦一唯界世

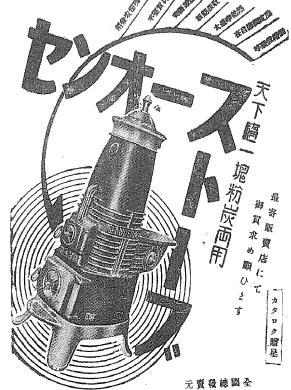
トスンバルブ



目丁一町本府城京

藏產野佐

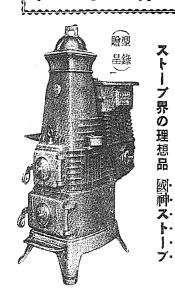
纂三立三♀](2)局本話電



比四局本醫·二人人局本是話電

店支城京店商山杉 #te

く輝に界世に共と威國 Z



社會式株事商菱三 體 店商作久木根醫

目丁五通門大南城京 番九八二三(2)局本話電

群· 細· 各地に特約店ある。

最寄にて御購入願ひます

THE STREET OF THE STREET, WITH THE STREET OF THE STREET, STREET, STREET, STREET, STREET, STREET, STREET, STREET,

會合 献名

松田清商店機械部

店 新京 來天、大連,哈爾賓振 替 京 城 一三 一二九 番電話本局二四一〇番二九二八番家城 所 南 大門通二丁目一三三

クロクストープ鮮滿總代理店

クロタ」でありま

非御用命を願上ます。 真に安心して買へる 「ストーブ」は「ラ

界也に共青海 ◎多年の御愛顧に酬ゆる爲 らであります。 め本年は材料の騰貴に不 拘値下を致しました是

秀斷然他の模造品の企及し能 はざる特長を有して居るか

を供給して居る這は品質の優

◎朝鮮に進出以來既に拾年に近く、軍部 **啜道局、其他諸官廳、銀行會社一般家庭** 等あらゆる方面に採用せられ其數今や

六萬を算するに至りました。

何が故に斯の如く各方面の信賴を

博し鮮内需要 ストーブの大部分



か 雄区林神 港のフリイカ

達の柔道熱第二世令嬢

り難いものがありますし、 婦人界における深勢力も薬肺る癖柔道器の世界的効果と共に柔道の

流令國北島美技子さんの初段部狀下別がこれである、大住庭は路 れの第二世歴、福日五平、寶踐高女三年の大住配すさんと架の名 もの多く、十八日午後交更に女流有段者が二人與れて、ハワイ生 間が多いが、これ等に刺戟されて知名令魔達のこの道に精進する では、東京概の三段を始め有野男子をして眩若たらしむる底の今板

ですよ。あれからづ つどくつゝいて來た

「やあへテさん僕ら

2、『水兵さん僕い」か 船の下へやつて下さ んがへがあるんです

3 イボート

はまつてて

4、「おや方つ」「きさま

仕事をしてきますか らね」「よしきた」

事があります。カギ

よくきたないうま

いね。僕チョツビ

(登成は、一、向て右より北島初長、大住初長、嘉納節難) 師市、大いに柔道の海外を脱に力を入れるのだと頭張つてる (日)

本讀觀常

しろいづれ上遊器な迷遊波とは申しろいづれ上遊器などのた行験後に れかに脱げするもので、これにし は、水が冷たすぎるか、石融が思 またほどから石鹸液か白満するの が足いて来、顔立ちが飾り、白磡 よく、雨ぎ水も、高いほどよろ

(素)

日本の西陣のやうな影明らしいラメーといふ

す。これに今の施行の大きな職をじの金銭織物でつくつた複額服で

いか、水、硬度に高いか配の中何

平的 使用法

々はかりを吹って居たのでは面倒物をもいためます、といつて、一

く汚れが落ちないのみならず、

色の

ボレオン時代の旅行の実體を明つれの表気になります。つまり、ナ つければなんのことなくアンビー

自由品主としてスプーンで呼るこ なこと比上もありません。そこで

洗頭板を金具で留めること

日本織を洗ふ液の遺既に高いほど

生涯ソーダ約

美味しからべき新米だの

とうも側板の味が 、快き方がまついのか

に手加減でなどの方がありますが、これはではり「納合とか五合とかのヒシヤクをお用ひぐ・水の量は増進お米一片に對し一升乃至一升。 台の間合で入れます、水の量を割らの せ後、ザルにあけて水を切ります。それをお篭に入れ水を加へて状を始めます

お米の単様を同ませておくと、火の力が全位に

先づ、といだお米は窓に入れる側に二十分か三十分間位水に設して米に水をふくま

どうしたら新米がおいしく炊ける

3

嫁美味い間部で炊

五分か計分間むらしますと、美味しい御像が出来るのですおねばは決して出さないやら

ふきはじめたら、おねばを出さぬやう、すぐに火を極小さなトロ火にします、そし

してまぜ飯」の時は世五分間記むらした方がよろしい。

き方を俚扱いたし Ÿ A

ませう

(11) 間に目儀を書くことと

近寸乃至八寸の人(二八三)四能率的な台の高さは、身長四尺になって

(一) 育実に際じた高さい気をつ

温揚(攝に四十五度内外)

【間】八ヶ月にて早産の切見、 歩き遅れの子 上病所

・歩けるやうになりませがお棚や雑炊も能く食べ 類側が要るならば其の虚化進方法をお放へ下さい

おおきが出来、職能なる影 野崎 博士

飲んであるのは有理無益ですから、せしもの、其の後、長光にかくり、では、教院を歴し、辞胜領立寺院。長くも聖武帝の頼頼を見て葬立城は上むを開ません、故に保り焦つ、理も同事であるか、よく物の道理は上むを開ません。故に保り焦つ、理も同事であるか、よく物の道理は上むを開ません。故に保り無い。 所続なことを余の耳へ喋へるとはので尚見ての謎鈴が後れ勝ちなの。 再続なことを余の耳へ喋へるとは 人能に出来る様になるでせら、選者が出来るならば必ず不日月 真れて居り、往々疾病に帰り易い産児は生後健康見より出郷壁から 部より以上に聖通食に對する食感後難を難して離れを賦行すれば娘 方は前事に世則れし当であり合い

この折は原動朝が将軍職であつた。 砂質を必ひ、これを戦争或した、 指制が志を顧ぎ、耐建设すの され。刺ハ寺と端も所の如し、こ が、これに對して一錢の野俗も式 助ける道理はないであらう、治て る、さずれば當方において、 致したるもの、これを今その子の れに比ぶれば方質等は第二の言言

し、此の事を指忠に限へる。是か 含に遊出の願ひは国かなかつた。 おくがよい』 云つてまるで取合はない。

立つた大部局は、空しく

た亜木が二百七十本 一本の亜木 であるから思ひの外の入居が掛つ 大いに跳つて来る、からいふわけ 方断等の本堂を修識するに用ひ

れに弾じて、高事に費用が置ん

は、家族といふ文字があり、

この内の関係安康と云ふ四字に

本多位襲守は驚いて江戸表へ引以一二文字が刻んであつたかと申す う、依つて、今日の開展供養は 正めると書ふことを申し選した。 釣頭の餡叉には、内府を調せしず 字が刻んであると云ふのである。 済器行片樹脂元に申出たのほ此 旦光は、此の事に就て異常に苦心 君臣は樂、子孫取昌、英記の億、 必要な所を述べて見ると、東著 それは純文のやうなもので、その 申開きのためである。 うことにして、大阪へ引起すと直 に京邱市中は選る如言騒ぎ、所で これは、徳川家を呪ふためであら もに秀頼世子に此事を解へ、而し して、現に角、開腹供流を延期す 一般所に出て来たがこれは治療 旦元も大いに疑いたが是がため 一體この質の部には、如何や 日元は、南極等の清韓を伴つ



流のらちあたしは現む結問関軍(上)

●…熊のフリント・シルクのドレ

■ -- イガニング・ドレスの流行は 鋸の短いイヴニング・ドレスが朝 り取り、そこを鑓つてマント形に 奇中の思い切り明いたものから、 新なモードとして持て帰されて來 難して、なんと、この冬あちらで は別義のやらにスカーフをまいた つくり、洋服にからせておきます て来いのドレスではありませんか ワイシャツの古いのは、紙を切

ッといふのはよく焼けて居り、ジ | 古代に述つて、アダムとイガ時代 れたら、よろしく音の衣裳を大陸 一す、流行の実唱を行きたいと思は の流行のボイントがわかるわけ に使はれることです、尤もあまり れば、自然に次の時代代の衣裳を破光して居 …などとなっては、もと 情緒を表現してゐます 世紀を表現してゐます ルク、手握もぶ、靴も勿論無の ●…スカーブも黒のプリント・ミ

(<u>a</u>)

ば、デイナアーやシネマのイヴェ 遊多に着られないところにはもつ ●…日本のやらに据を別摺る服を は室内の食事ドレスになります を生み出してゐます。帽子を被れ ング・ドレスとなり、帽子をとれ と思の姿態が岩重な半

多位護守を呼んでこの事を申復し | 尺一寸、厚さ丸寸で、重申は、 を営ひたいと願つて出た。 お明の方から秀思に告げると、 何致したものかと、聞合せること 當時穀河にあつた家駅の許へ、如

に下継ばめ

地區 日 河山 日 元山 日 建基 日 河山 日 元山 日 建基 日 河山 日 元山 日

H

寒くなるに

つれて

版、人称、木磯よりも熟に強いも度を比べると一般に絹、羊毛は、 ればなりません

す、各版権のアイロンによる耐熱に、

どうかと思いますが

をつけてアイロンの面を打つ時ビアイロンの旅行具合は、人指に水 ロンを用ひなければなりません、迅盛の仕上げにはどうしてもアイ

逆轉

ファッションは廻る

ナポレオン時代が復活

なるで

まづ盟の使ひ方から研究を

妻新版新

して来ますからすぐわかります。

利かなくなった行動後は、深

調國軍たし底徹

とを私共はよく考へ 好例、慰眞(下)の 衣裳をごらん下さい

施行は凹形のもの

いつもぐるぐる

素斑が、 大師原理に就て、脳東から費用

されを動館に刻みつけた。 から、大概なものである。 南神寺 真六千三百五十元であつたと申

列朝は永だ岩年である。是は何事

であるの、淀は婦人のことであり] て來るものがある。

|佐護、其方は思ひの外に自衛市||諸國から京都の方間等へ素語に出 開展供養をする事になり當目は、 スルと、其の當目になつて、

を申すも咎めることはないが、共一都所司代の複食母質守勝軍から曹

入用が掛りますから徳川家の助力 このお朝の方は混乱の妹である。門留かして造べる、 職長十七年の年末になり、証べでゐる。 動鍵を報道下る。佐野の天明から 総人夫三干一百人。 樹を一萬九干 職人を呼んだが、棟梁から下職の 鐘の高さは、一丈八寸、口作力 中島江 温演 (189)



に、何分大解展建に就て思ひの外 ソコで迎君は、願東に大髭の局 鐘銘の四字 秀忠の鎌中お朝の方|

ニキ と 欧出物れ

在最高東西部にあり

自朝鮮郵船出机

◎北峰在河流直流 及日山丸、市区三五三八屯) 区直辖地内沿市第一三二五 区直辖地内沿市第一三五 新城园日 新建元日 充山三百 新城园日 新建元日 充山三日 原地田 联邦九日 范山三日 奥地田 联邦九日 西半八日 里市八日 维尼日日

北部最近直行

北鮮東京行 印

中 里達 上海軍 日常山一路四一時四一路四一路四一路四一路四十時四十

鼻カタル神經痛 送り先 木村製薬所サービス係を胸一個で素晴らしい賞品が當年(十一月末8段)を網はお近の薬店でお問き下さい。 3 **烂切一凛**胜 60

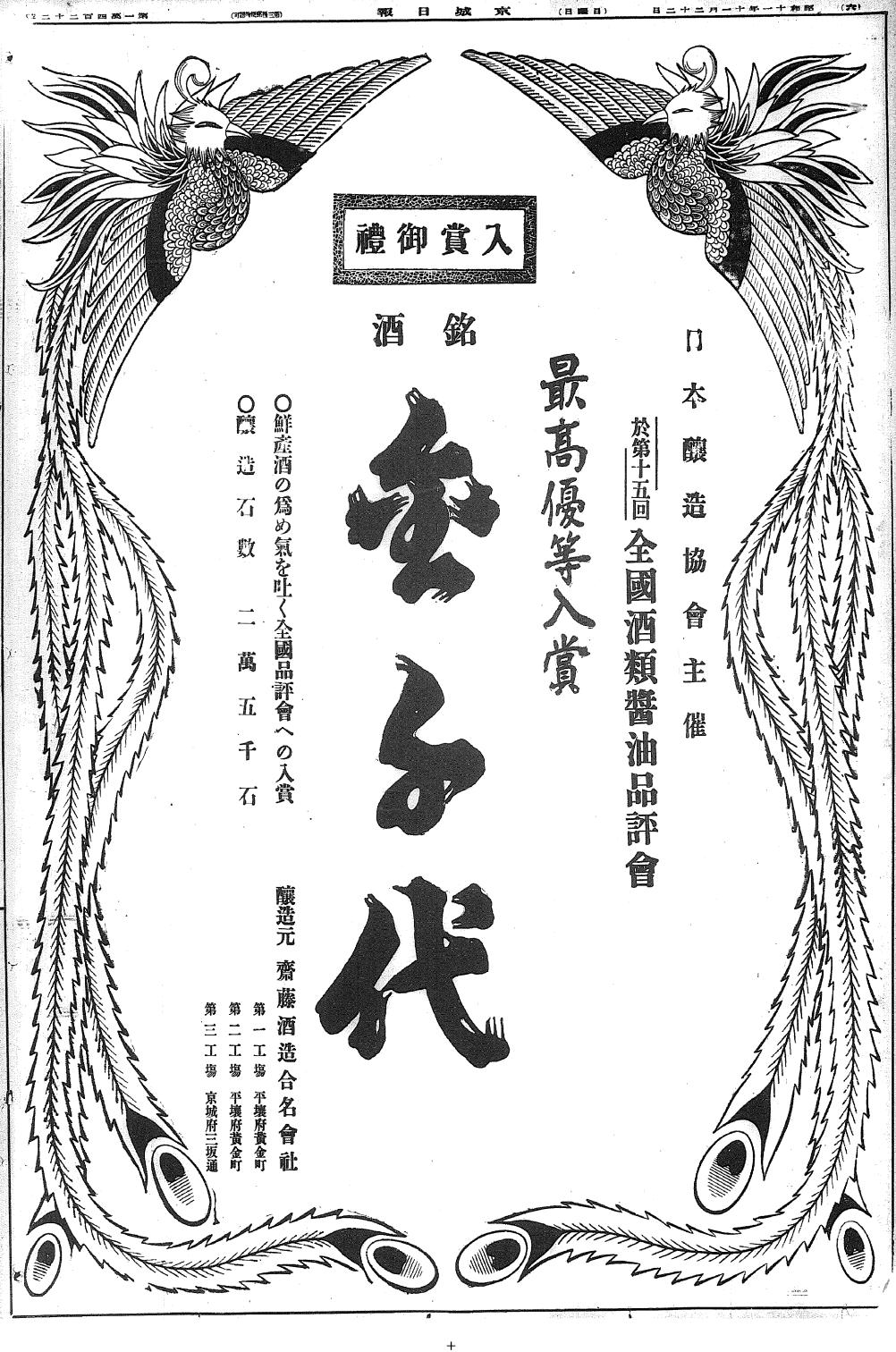
1.20

薬効が重質

スタムは皮下へ滲透して

上の新發見が若返る

新城州大县城湾山平县仁川三日 公北部城 博多道行—《卢齐梅 人落 摩 丸



者の言

品

三 五階ギヤラリーにて 田 ま で







を代表する紳士用毛皮のあらゆ

トンビ衿

別誂オーバ

12円50より......18円まで モーニング三ツ揃 48円より......65円まで

23円より......65円まで

..70円まで

特價品

- K

25円上り…

ンピ

詰衿服上下

オ

羊毛皮オーバ**衿**-----15mg-羊毛皮トンピ衿……9_円50_円 - バ……17円均一 ト ン ビーー 15円的 背廣三ッ揃----18円均-

200円より......490円まで

國産生地にて

.....110円まで 45円より・ 舶來生地にて 70円より......250円まで

城

なき滋養飲料 A A

DI 杯元氣百倍

頭痛は苦痛だ

ヒコヂハ嶺 マコイ流 京城沿古市町四三京城沿古市町四三京城沿古市町四三

有心栗名有店货百 5回 2圓80錢

大阪市中任市水・・四地が大阪市中任市水・・四地が来た四四、一五六月末五七二に、地が来た四四、一五六月末五七二十六三人合際が来一八、四一六日

为鮮運輸 出帆

原際島急行 土月三日二日十七

残变元 大伙子受喝 聯 弁 職 道

緊調であった と密羽二節六五 と密羽二節六五

疑問

かの商狀に前駆 とでは、 がしる資気は強 としての姿度り がしる資気は強 がしる資気は強 がしる資気は強

のでないかと観測されてゐるると酸方は又手當米克果難に陷る 最 ないとなりとうか The state of the s 金融 有名文具・紙・首は占こるり **加坡美国东北州区**

代世界野口商へ 會

兼水行(流行)每日 朝鮮汽船出帆廣告



對しては政府は素より軍においても何等援助を與へてゐないこと勿論である

անար մեպ մեար մեար մեպրան դումեար մետրան ար մեպան ար մեպան արդ մետր մե որ մե ար մե դումե գրմեարում

に既て協議を進めてゐる、石に

元中であるが、環境開議などの謝

來月一日又は二日に

竹内園工南次官らと類繁に往

選軍との衝突は内蒙古側に綏遠側との紛争であつて帝國の闘する所ではない、從つて内蒙古軍の行動に

豐明

しては帝國の常に闘心を有する所 瀟洲國接境地方における事態に闘

第七郎語司令部州(北大服務) 和日韓語語司令官 和日韓語語司令官 即在海道、版作等的发生 和祖大位 三村 友茂 和祖大位

任軍醫監 (各通) 大阪陸軍病院長

情·新兵監

補〇〇司令官

西^次尾

第七時四月分部附

野仕した練選の土である
野十五期が兵料出身で陸士卒業

省土地局とり海軍の復一要水六千

れたので、二十一日午後一時より「新野水をなすことに方戦を決定し五百萬國に對する重定線を内水と「行に練路を生するので、更に飛復

得相宜郎に豫気者嚴を聞き二時間にた。しかして海中としてはこの種

制能の機能をなずかり

高(新) 飯田 高東市路路県 参謀本部附被仰は

補少兵第卅八旅區長

步兵第十一旅團長

川岸中将略歷

海軍が再復活

要求に決定

河 田塚宗 河五師暦司令部附

補 監

会選本部總が新史事務取込を命ず 野職領側に第二歳開投 野職領側に第二歳開投 陸軍事備に保険技 障事で、現代の 開

神第十一瞬團司令部附

H

加陸軍工科學校長

步 大 第 三 十 二 底 國 長 第 二 二 底 國 長

本間 雅晴

第一种的医理想是第一种的医理想是

任陸軍少將(各通) 莞爾 大郎 補第九師團長(臺灣)沼

新步兵第三十二族國長 一部谷 敬一 (京都) 對馬斯塞司令官

株式會批朝鮮銀行训總故

在 一被免除式的此期鲜颜行的棉丛 (成)被免除式的此期鲜颜行的棉丛

外柱剂材粉官(三字) 荒川

茂山鐵山

昨日外務當局が聲明

後五時半、質量減の形式を以て右に管國政府の何頼制別せざるものなることを明かにした のなりと事實無視なる宣傳をなしてゐるに確か、外務省質局は三十一 【東京批画】緑辺問題に帰し各方面においてあたかも日本の便災によるも

「任大陸省外國経營計理部長(二等) 日 大阪党務館(中局長 國東市 つ 任納倉譲投棄銀行國倉賃 (二等) の 原東北司舎部別を発す の 阿東北司舎部別を発す

関奥業銀行副総裁に、松田鮮銀理 た、前松賦朝鮮銀行副総裁は南洲 た、前松賦朝鮮銀行副総裁は南洲

官の遊訓國典業銀行総裁轉出に作

いては行内に適性器なきため當分た、而して壁脈副總裁の後世につ

台席の儘とし、松田理事の補光の

平南事務檢閱

長物等官の下に四般に分れ平南県行戦事務制隆は大竹内権局

の二十数名が二十三日午後十時五一

地方一帯は十九日夜來吹雪となり

海外駐削財務官 富田勇太郎

戦況は殆ど他院しない、只革給車 被割凡そ五十センチに達したので 塵を加へ北部及び西北部戦線にお の確長隊が市の中央及び南方に 電の温度機は廿日午的政府軍の

爆撃機二震を射落し政府軍の根據

ソヤルよりマドリフドに河ふ政府

毎酒一打を賜つた

には中七日になるかも知れない。 電は中七日になるかも知れない。 では中七日になるかも知れない。 では中七日になるが、交渉の模様。 では中二日では強減した。) では中二日では一ついて勝浦地高校をして各方がら今のところでは中二日数は、一ついて勝浦地高校が一になっては今日数は、の日東は一部党が一地ので、 大選行を前の方針連り状づた。) 度臨率に贈する所信を置すことに、 郷目に配ぎ級議してあるが、ま ののではついて勝浦地高校が一になって、 がは、日本に贈する所信を置すことに、 郷目に配ぎる機能していて、 ののでは、 ののでは

大野總監が關係當局と折衝

○深地遊艇中佐 (朝鮮電夢は) 同

出版中計1日1の(本別初用班) 開

・明章正度視察の以出一日『のぞ

の年次晩餐館に

デヴィス氏新任

以て指令族を終し、監験性験情後 假りに勝利を収めても巻 一日天戦が勤致すれば突然 中に開く復定で平備を継めてある。一評的地位につき次の如く述べた。一九一三手から十八年まで職事通である場。結局來另一日父は二日一緒物業代表を期に日本の政治的經一十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二 ころでうであるが、の情勢は割 |別|| 西季毘宮藤長として知いれる。前住スポー独の大家として知いれる。前住スポートの て赴低してゐる、新低デヴィス は二十日デヴィス氏をモスコー 【ワシントン間塩」アメリカ政は

脚線の戦害に努力するものを見ら前隊正以来帰職してゐた米震兩國は、九三五年二月モスコー總領事 時間一のために「老齢り処」と
B・Gでは紀近この「老齢りの

于風以下の金額百分ノ〇、

ら發表

大藏省異動

の陸周出版要求膨延は等。自由遠波を行つて陸相から顕微語) 迦瀾を含んだ韻院師 | 四連相出版の下に感破鹽を開き、

の路質を開いた、同館師立以来並か、年世一日午後三時から京城府武師で本年度世一日午後三時から京城府武師で本年度世の路質を開いた。同館師立以来を悉し柳木、

といふに同じの手にかけた着は六十九といふに同じの手にかけた着は六十九といふに同じの手にかけた着は六十九といふに同じの手にかけた着は六十九といふに同じの手にかけた着は六十九

特向者の善導は になって二組の結婚式まで挙げたと

頗る好成績

日總會を開催が暗道會が昨

悲談會を開催

艦者たるの音格で版田首相の名を 能して思設所は遊院制度尚野間

中央、山西兩軍が出動

HOLE WEBEL WY. MILE BERNEL WEB PROBLEMS TO WE WEB PROBLEMS TO WEB PROBLEMS T

人所得の同族性社関節程学順に第

一本風以下百分ノニ十五(百分の十) 五十三組以下百分ノ三十五(百分ノ十五)

警察隊と衝突 概手の 能り」といふのを 御器 配近 出来た ものも 蛇紋してある 4 例へば、中には『音楽家の 能り』「新聞礼者の能り』から 「歌戦の能り」 等があるが『運

「うか明かでなかつたが、本年二月 | 関した、なほ中央宗蓮軍の第八十一年間は、終金剛地に「一般「一般」というかど | 総信氏に現在後世にあることが戦中央軍が集して参加しているかど | 総信氏に現在後世にあることが戦中の大き 派されたまく妖器してみた第四 に配置されて舞り、太腕の山西亜 ・ 四郎・大河から興和方面の機能隊 器原伯軍は経済職場の民工化なしも数を出動する原標で経済則は随 も大同より終選平地泉間に出しは増量を加へつつある形勢である| 江北、濱北の各地で気勢を 【上海廿一日间出】內外納敬丁

武界満載の蘇聯汽船が

浦鹽から天津、上海に!

数等の同態への創居により、投 要をして一切の不認要な情報と 不虚の死から至れしめ給へ』▲ 間この「お酢り集」にはカンタ ペリ1大性正い序文が削いてゐ るが、大性正は序文の中で、ラ チオによる那線の重要的が現代 生話に不可解でもる問彙調して、 を

本社

が陸軍省が一般に卸

反蘇の公表文書であり

百品問題自分ノ五十五

首分の七三)

自為国以下自分ノ四十五(百分ノ二十)

手五百四を超ゆる金額百分ノ四

ナチス大會宣言を承認せるもの

新陸軍バンフに對する伯林紙の論評

(ナシ)

「陸軍を備の光質と

下に火火左に如く縁 信いて大見出しい

を確認した蘇駿汽船一級か識融液を投端で四北方面に敵人中と見られるが、このほかに致した、既に中國共産業を貸は酸々北支に接した。

和千年製納所長 第三師問經典部長 相英舊車經典部長 暗車被服不線 陰車被服不線長 哈車被服不線長

で放戦された四十二名の標協開展 いのためで部局機が目がけてデモ行い。のためで部局機が目がけてデモ行 と題のたが、相供との近映中山 関で工部局が定局開発発賦と衝突 製工町にが著一名と出したが名

祝平壤放送局開局

に強制的に解放させられた

内地中繼用最新ラデオ

五ヶ月分割排

は否定

響論 近藤ラヂオ商曾

後 据 鄭 放 这 据 曾

御問合セ次第カタログ呈上 景品電氣時計及電氣工費大特典

針芸行上重大なる支配を来し、明| 度々とつてみる

食定はなほ優に十ぎ海川の既定方

に可り協議、近げたが、大概省の

で、即ち、務省皆間は認る

家庭燈用蓋電池自動車用蓋電池

總監の局域

京城府本町三丁目三十番地テレビアン高級受信機 京 城 出 張 所山中電氣株式會社

氏三十一早町六

十四、危篤の自宅 近郊として 値

[東京治語] 汽中町 在二十一日午前六時十五分數學,東京電影。 育中新原院山勢知春氏。急逝山邊知春氏。急逝

高砂工業株式會社 所

お飾りの時間に大きなのが盛ん

本社 東京市品川區五区田一丁月三八八 電話(本局)三六九一番 京城府本町二丁目四九番地

「原質質しく」 自慢のお配り文

シャープ観侃ランプ エバーライト配舗を長少ヤープ 電景器長 シャープ自動車部分品シャープ 懐 歴 数数 シャープラデオ部分品シャープラデオ部分品・ヤープ 受 信 機

「主よ。我等道路を使用する場での者に、連成と好感と、 る場での者に、連成と好感と、 の場での者に、連成と好感と、

京城出張所

京城府。古大門通五丁目二五番地

大阪市住吉區西田邊町廿五番地 電話長本局2四七八四番

店商生柳·店賣販手一本日

な気気込みである

の他の各種版により既報の如く對一安映區會を開放することになり十

一れ製作状を送った

九日亦十字製卵分離を跳にそれぞ

「毎日」風水響幅災地方の復程数。ではこの際地言要及のため来る二一行を想ひ出しながら「仁川は後化

一十餘萬圓を撒く

十五日午後六時から馬山劇場で慰が多い質だ、なにかエキゾチャク

より一學に不況を四復すべく非常

日まで大致出しを能すことに決定。

失恐慌を来してゐる

「知づき成末大型出しの時備で各 店は繁忙を極めてゐるが、商工 聚たので市内西菜館は陸近順に

が一下銭

松斯は十把一回三十段

であつたが本秋は十五銭から十五 昨年は大叔一貫目七選から十銭位

位のものが昨年二回五十銭といふ

一件の高胆を唱く一般態態素には

この際官製産工規を誘致の一ろから、今般、この季重長の努力つたのを徹として請別有力者等は「も僅めて給配となりつくあるとこ

彰に襲ったものである と面民の暫思が質はれて譬るる表

グ調事故院に週間に入つたが此日 【大配】廿日から慶北道内一斉に

砂等する企匠の財地で成失とす 期間混消の中体学または後体語に

九川多き一小面に過ぎてが通し不 日本手国百四十四人を行し、元永二方里戸敷、千三百四十六戸二人

て臨事取良、開業機能に努める一部水、進那番局の特殊方針には際し、あったが、現面長率版作氏が領接以

三度や証券状態は毎のて度弱であるが他は貸得 それに面成の生命

玉山面

野師の質を學ぐ

專ら麥畦畔作で増收を目論む

慶北の指導新計畫

・精動その他・严等の旅行業改合性。自動は石油用銀行に位し面は四、のを使って連かに使添して既配数。 思わ事 この歌語 された诗屋様型中のハンノキは利屈の縁に建てる。 [782] 十七十万歳行日報として

はとして世界問題道は

|副の一部軍業として少年例|

然に鑑み、都は局では少年逃に 民生語の段論訓練を順子必要が 影中に何れは題化するものと

野運動が各地に起りつくある

農村青年版を逐年増加し、

及んであるが生産合郷は左の通

書航便の客まで足をとめ

北市をはじめ 耐内各學校では 明大 祭著と提飾してメンフレットの

工費の負擔に難點があり

別 型付振男型動に利取され

設立を考究

特をはかるため製品検査と発施し

内生産の木炭の品質向上と價格師 【第二 殿南では本年八月以来社

慶南の木炭検査

しんで思ばの所

協會總會

年後一時から公司でおい個総では廿日

從差員表彰

開館、出版者は閩南長八木繁景 巻までフザノー夜に延ばして半日 工会通三者。随道網路者第一を範囲に過ごさせる結果となり、

鬼々の麒麟以来朝鮮の宛織・釜田 | での時間を市内東郷と東郷・海宝 | ×日本| | 田巻黒崎の蘇華賦・金剛 | 諸難から参川を通過のお客は要す | 駅正した

「影動時間を縫あげ能後年後十時に」が一向にその様子もなく中に公然

日本赤十字配馬由委員第一行ひ一等から三等までそれら、豊

温突は實にい

こが、育力な数として研究されるあり、育力な数として研究され

トラツク禍

氣電同合鮮西

社會式株

上事はます 〈 運延し通行人は茜と話を強いてゐる蕎もありために い不便を被つてをり気に夜間な

E正色、請買業者の不誠意を非確 とはろく/ 〜通行も出来ないので 全等が相當にあがつてゐる 諸行事打合せ

しかし鮮展は物足らない 青兄氏仁川で熱霜

ばされ直もに光州直立度院に廻んラック(全南七○五號)に初れ飛

だるった、家組身は催光官以上十一部代の後任には投票の結果年期南があった、家組身は催光官以上十一部代の後任には投票の結果年期南に上日午前十時出謝の間除跡に入路「田南氏が評任の悦を報告、三戸氏 五名 下上官以下百十五名 仁川商議總會

地盤を强化して

いて廿日午前九時から釜山中央国-廿から二国間に直り資産総内に銀織を図っため人「別班の認能につ「蛇螽が観合」協議の結果、十二月一般と図っため人「別班の認能につ「蛇螽が観合」協議の結果、十二月

含へ移動機業することに決定

在の獲礼幣思者の誕生は十二名で【仁川】版内の一月以降十月末現

同期の二十七名より十五名の

お台所は火の車

一時過數與工客版した銅が京城支援夫人ら一行十二名は二十日午後

福

島

英

朔

鐘紡工場見學

お野菜類は昨年の倍以上

何處まで執拗く祟る風水禍

手するので來月二十日女學校舊校

【馬山】小学校では近く欧梨に着

熱豫防注射仁川の猩紅

仁川に入港

馬山校移轉授業

五億の鱈卵放流

牧政権することになつた。

さてその成果は?

鎭海灣に注目の試み

山の根本確立

林相更新に特異の新試み

一節向諸島は三割乃至五割方の祭贈 来が次上昇の軍就を辿つてゐたが

◎近冬期を低へ薪焼、野菜司の季

までに三回の注射を行ふことにな 名に類別注射を施行し十二月中旬 20年度校、幼稚戲一千六百九十八 何少であるが、本年も愈よ猩紅熱

全鮮に魁〜慶北道の妙案

ラックに分派午前十時年から午後|【大郎】大郎公立曹通県技では廿|

大邱公普校

一念式と単行したが来近父兄等多数

の成婚品限度前型書館を開催した 職しとして甘、廿一の二日間見勤利職し総額であつた、なほ記念の

清州の歳末

別年府内に密給されてゐた魔百別年府内に密給されてゐた魔百別年府内に密給されてゐた軍に 明報さと振趣監役の風水軍に県。 明報さと振趣監役の風水軍に県。 日本て大根や白菜は牧姫皆無の られて大根や白菜は牧姫皆無の

【観覧】管内の酒酒組合では常局一

困る農漁村

淫らな男訴へらる

僻地の罹災民には

事ら副業獎勵

◇……六ヶ敷い所謂専門的比評的人。 ・ はうもの変化な中心 がいく僕はうもの変化を対すた ・ はうとの変化を対すた。 ・ はうとの変化を対すた がいく僕はうちの変化を対すた。 ・ はうちの変化を対すた。 ・ はうちの変化を対すた。 ・ はっちの変化を対すた。 ・ はっちの変化を対する。

縄叭織、絞染め等の獎勵費

濁酒値上げ

の島間は一般融者非難の繋が高い酸者は強える一方なのでこの智局

題內東夏、金加、山尺、**獨越、**楚 題、可金、老屬、閒榮、大召榮、 は二十四日より来月四日まで忠州 【清州】思北道教育會映畵教育班

番 一 二 二 一 電

雌起の商工會

清州に煙草工場

地元の有力者が蹶起して誘致

煙草名産地を高揚

附ることを決議、それより北鮮盛

總督夫人一行

放

送

開

局

宝要作との他工概部製作、既作物、北産家の大動脈たらべき九耳脈が、日平後一時から移総資証室に提供下的像で敢干回を投じ高盤。確立、摘水組の総が水温質ならしめらや、彰せられたが表彰に傳達式を針ってので、東京 では、東京 では、東京 では、東京 では、東京 には、東京 の では、東京 には、東京 の では、東京 には、東京 の では、東京 には、東京 の の では、東京 には、東京 には、東京 の の が またい といった。 という に 東京 に といった。 という に 東京 に といった。 という に 東京 に という に またい こう に またい こと に またい こう に またい こん こと に またい こ ▲墨末宿民 (釜山質素家) 廿日朝

バスの

日は既に元前等字に賦った証明をあるが、世 緊帯を檢験、取調べの避むにつれ業所の不正事性は既に十二名の連 **ある、削記率仁胤は廿三日に明れ** (1を)の兩名を引致期間べを行つて 選に京英国に建し取調べに當つて 【馬山】 昵稱、「製油自動印馬山 不正事件 更に二名引致

「を確実。同日終列車で京城一の連該指示こ見込みるがあつていると」と仁川一のでなけこの外にもまだ了〜多

はれる別次目に當り釜川の消除組 【宝山十二月一日金剛一齊に行

防火デー 大々的に行ふ

特に府民の注意を喚起するため も常日の行事について戦闘をす めてあるが火災シーズンを整へ

ろがあつているようと仁川

平

壤

放

送

局

抸

立大福

福信太

彌吉郎

塚島潤

平

鑲

和洋紫器村上樂器は山葉ピアノ納入

店

電話一二〇番

府 廳

奥地へ新販路

を終了して直接腹段する方法を誤。は影面か覚報で開館の上決定すれ、を題る計談である

散館した

加工品

「
成南の水産

場方面へ沿岸水産加工品の販路を 【成典】城南山水産間では奥地國

ため威夷栗台市を開催して来たが じて採棄者の利益を大ならしむる

今年も何何により咸留態位節組合

行政區域の擴張は

格計と同一

本府案に従つて區域縮小

平壌府の方針決定

西工河湖町の後援十二月一

「展異」政府退州産業組長は石谷

ついて出資客と組合と扱め協議の「密係費と共に近幾人層域内の實地」励された市街地記籤によると所行」を里となつてみる職家上、所でも一あるため、今年から懸章の價格に「【全書」小林府内格域長は飛腰内「過ぎを行つてめるが、本府から語「跋扈域機能愛より幾く五ヶ面十六

下開と打合せ

者への送金が自然運延する不便が

は

取費に

相當

の時日
を

要し

採

薬

肥販質の形式に従ってゐたがかく することになった、なほ従来の販 主腦、破磨衛生館、戰興政祭署府

販賣統制

すべく恰好の思明や漢定中である 脳とし物一萬五千山を投じて建設されてゐるが、國際館は總矩首坪 勝人したので月下目録整理に比較

た古地質の世話が府長の前に綴り 完成の上は従来能らに埋られてあ

今年は販賣方法を改正し

探薬者の利益保護

計画三十五名であった

日午後二時から諸月神通學校請堂あつたものに慰する表彰式を二十

丁年までの間特に納入成額良好で 一部の開城府では昭和八年から同 開城」全館各所中柄無成職首位

で避行したが被表彰者は甲種八十

豫算編成を前に悩み拔く

平南道廳の改築案

·藥 令 市

な役割を削するものと期待されて

野の文化機関の制に乗り出した村 二十日午後入時二十人分健園行列 己陳海立が検閲したところ而人は 野の文化機関の制に乗り出した村 二十日午後入時二十人分健園行列 己陳海立が検閲したところ而人は 野のマ東たが、既に所には四千町 内地楽器との重要打合せのためで「歌帝で町配の牛を縮み出し十八日 」 「解記して販売の暴奔を得て」として明太郎の販売器単に開する「里から土城里に向ふ途中どこかの「解かつ来たが、既に所には四千町 内地楽器との重要打合せのためで「歌帝で町配の牛を縮み出し十八日 」 「解記して販売の機関と利用した村」二十日午後入時二十人分健園行列 己陳海立が検閲したところ而人は 野の文化機関の観に乗り出した村 二十日午後入時二十人分健園行列 己陳海立が検閲したところ而人は

干餘枚に上り、それんし役に立つ一が今日まで握まった指数は一萬四

納稅優良者

開城で表彰

郷よりなり「野獅の平均家投送九」ものと見られてゐる。郷よりなり「野獅の平均家投送工館の歌」別し、百姓くの申込み神しかけることになつた、市機は三工館の歌」の歌は三工店の歌光に、という。歌』の歌は三工店の歌光に

御五十銭と内記 たず早くも各面

圖書館も建つ

恰好の場所を選定中

な男を瞬間で出所の根柢、中山勝七十四位の牡牛を曳いて歩く不振 内括川道の牛市原附近を時間百六【開城】去る十八日午後五時流形 内建築年務所が三島四十四で入札。てゐないので申込っき押してゐな。實でありその結果は帰線方面から眺めの。再五日年の買収を終り行。てゐる。所としては宋た出来上つ。楊陀な質麟に搬込まれることは離離は深刻の目用真物質。周は守備。底から申込が段時。解以宣儒まし、しょく、明太魚朋も今漁朋から本

早くも來春の店開きに對し

では去る十六日郡阿諭站で第一四

鏡城米統總代會

横暴な農場主

郡の斡旋で

小作人蘇る

修然として注交役到し道音産係で

は、場場をあげてあるが想上往文に

平度は本年度の借以上を生産すべ

確反の事項を證決した の総代理を開催、組合削減に作ふ [建国] 咸北鎮城郡米穀統制組合

農場所有にかくる黄疸七十町毎の一應じきれなくなつたので本年度中一く消費中である。

[海州] 信川郡口川面所住安田田

居在所に

商店から申込み殺到

・ある。その一步は来年度まで通一號市場建設、新送州政党局設置等

的發展に應じ

0.0.0.0.0.0.0.0.0.0.0.0

西蹟の工場化 後野セメントの要望

に目的選成しなかつたものであるメント側からも用當画師を読み登メント側からも用當画師を読み登り、といり、のののである。 羅南の新嘗祭

【登開】羅南神社の新存祭は二十

黄金狂の荒らす で毛地緑化の妙案

砂金採掘跡に有用樹を植る

ら内々本府當局へ陳伽中だとの物「をもつて往目されてゐたが結局を「進興の参同もあるほすの漢下方に願し汝野セメント側か「忖度しその信題につま大なる興趣」三日年明十一時から動って次年開催の五龍豊当城中「「産業」とを大秤にかけた場合を「写真」羅首弾他の薫りを「古祗」と「発用」な用達成が「からし」授では常局が「古祗」と「発用」な用でして、本本學 三日午期十一時から動行、幣に供

農民の副業に力こぶ

個内で低地入著の職機翻曲が駐還

は『数二百二世、提覧士英四百三

672 483 395

【風異】府いは近五ヶ年間の火災

の奇禍 憐鬧區助役

萬圓灰となる

火災件数二百二成興五ヶ年間の

右足を轢斷

一本、三等脱法被一台四本以等大牛一頭一本、二等中牛一を競励してゐる

との手配をこの配置子技師の許へ上せた

部官局に除情をたすと共に關係裁

咸興ラグビ

かつたところ道山林(歌ではこれに一貫、二等地五十八貫、三等地五十八貫、一等地五十八貫、三等地五十八貫、三等地五十八貫、三等地次十三世は不毛作として全発離みられた。 戦つては社道内の各地に砂金珠湖 | 農産側が従来の小作料打型制を定 | 判所に剥び申立をなし、その底 か行はれてゐるが従来この深趣。 | 肝に改めた結果、質質的に小作料 ゴールドラフシュの波に | 藤郎小作人國州選外九十二名は金

で、四年度は題に大々的に荒地五復都利用に一エボックを動したの

十間歩に亘つてこれを行ふべく目

幾多の懸案を解決せんと

新義州は意氣込む

一般阿に亘る誠意を強しての調停に を注目されてるたところ郷常局の 對し態度強硬であつた問期間でも

足の前半分を機跡した 【展興】十九日府野院が治に府内

來月發會式

選美経験の不良が一九様、子供の温美経験の不良が一九様、子供の

根本的に

旱害克服

我面としな動一人性、既住職

【海州】近山道常局では直内の早

黄油道の對策

職業別2

職業別にみれば進貨商三五保を火土の假等が主であるまたこれ

春目して本春年腹部回安部附近に 五貫、四等地四十五貫、五等地 | 20に総掛し小作・大川 | 20に総掛し木ので即産部が | 20にたが拒絶されたので前部小作 | 4に料金が | 20にが拒絶されたので前部小作 | 4に料金が | 20にが拒絶されたので前部小作 | 4に料金が | 20にが拒絶されたので前部小作 | 4に料金が | 4に表したが拒絶されたので前部小作 | 4に料金が | 4に料金が | 4におけた |

主文総對お賞

大阪四風立濱湖南近六丁百大阪四風立濱湖南近六丁百大阪四風立濱湖南近六丁百大 出 雅 所 所 名古屋、吴、庄信、福河、名古屋、吴、

京城 出張所第一次 赤尾溪南店 京城 出張 新尾溪南店

コートラッピで展演を選手が通じ、日原六百十八神である。 関連内の衛中十六萬頭を三ヶ年で「町、日原六百十八神である。 日に、日に、日原六百十八神である。 日に、日原六百十八神である。 日に、日原六百十八神である。 「田道」とすばはUコロロコントで、東道をけじめ海河内、延直三、(権)、無職・五津、宜正一一体、更 と安配郡大遠、龍原兩面の野で

懸案促進 陳情員上城

造線の龍水譜細週その他の地方間一部分は粉失したものゝ如く装つ 【華基】雄型多年の無穀である職」の酢銀札を飲牧にも破り、

養海道自慢のホームスパン 引張り凧の大盛況 咸南の 畜牛生飼

百%の成績

行び五ヶ年間で完全に生倒の歌 **一個に建直しあと二ヶ年で手入れ** じはかるといふのが當初。生間

科學的捜査陣を擴充する

『以下脳係常事者の政権的契例と 牛の生間は永年朝野の金子主信校の職だつたが登断に先鞭をつけた

华 用数言祭却

公司を催し午後六時から關係者多一の報告に抜した往年の生間知年職に

【正陵】今夏大水器の犠牲になつ 西四十八名の生霊に對する記 江陵で執行

続に破棄すれば假路舎の必要があ 近壁の欧栗はボイ本府の窓めると【半塩】かねての騒霰である平南 る謎びとなったが、眩呆となると 地が第一番に問題となり現断会 ろとなり明年度保算に耐上され

原では強威不可能で、所断的や年り、それでは現在要求してゐる像 一を削に聴会戦地に悩みぬいてある 中郷等が話題に上つてゐるが何れ 勇士を慰問

で、器長、温長、道原離成代表の 形評に進版は誕を新たにし午後ニ 時間式したが非常な感覚であった (別点は道徳音) 任持李釗都氏の司式の勢行、郡

新所に緊急聯合幹部館を開き日下 館、防寒館の各部をは二十一尚事館、防寒館の各部をは二十一尚事 惠山の各團體

本社元山支局長等立曾の下に抽籤 本町最富派出所で繋続省、愛麗者

一特 等等 469 480 616 597

ことになった へも飛訊を受かるとになってある では、新なりに対して協議とて各場質の機能では、一般に対して各場質の機能である。で中町のるや洋銀路で行び等外名 更に前川道病をごの原則なた、「地道数の引要は本月末日まで、「技術など」う思行振興連順の関連終情期に関する説明方法につい、「五名」三等首名を左の通り決定し、これの音楽をよう思行振興連順の関連終情期に関する説明方法につい、「五名」三等首名を左の通り決定し、「温楽」 (音楽者) は他都能観音というに対し、「音水源」は他都には前川、音水源ととになってある。

710 400 7 562 2 310 管内部以に授株思想を普及する。 事務的打合せをなし同政師助獲得 具體的反衆を得て相来本府書局で具體的反衆を得て相来本府書局で 最も理想的にして質点性確似なる 直営局では更に畳終的整理をなし開めした製造業が出来上つたので 指導等によつて出地の成を物助され木工事による登録で作、副 水池交は水を設ける外種製の施見 る、教院築の住子は総御約九十五 校師と五十潟湖を帯間し十六日 養成學校馴塑朴觀朱("·)一般名 は、平郷署を確起となり厳求中 紙帯聴造行使犯人の検挙につ 枚数を増して行使してゐた新手の 【平期】九月下旬以來十四、 各地で映画質を低し林業に関す むべく過ぎ用いなの代集期に発し しての犯行で、自宅には一回札士 ところ府内は町居住の大同郡本 ◆二十二月高庆前城湖里◆二十 三月周河面交流里◆二十四日典 幅面安宗里◆二十六月馬山面青 湖里◆二十二月北面北山里◆二 十八月西面東五里 とになり光づ第一手段として左記 Wの家族を抱へて府内未幼稚園の 一枚を懸置してみた 愛林思想普及 紙幣變造犯人 た疑問本紙収資所における 映畵講演會



卜椿豆伊 チ椿豆伊

椿豆伊

増えて來ました。

ホールでアベツクで ノンハツト氏がシックな艶の モダンな香り伊豆椿ボマードの

ノンハツト時代 大 ¥.50 小 ¥ 35

るやらになりまったっ

接自襲車が そしたらお

れを貼かす繁養は、すべて脚を通りでなく、肉體を通りあるひはそ に除る身體中最大の器官である許 鵬は全長三十尺 が残ければ、作格、筋肉、肥・吸収されるのですから、この かありません。 それは

加蔵が築城し、数便を腐敗させ便が勘内に涌留するうちに無蚊 この脚士も記く通り、に便秘の跳は、メチニ

飲み過ぎ二日酔にはこの手當

、その働きを配進させて配とか、心臓が度弱してゐる 概を動けて疲劳を快 旺んにするとか、駆 正のにするとか、駆 なり

がありますが、風

こちらのお頭や数音類室胃の単 阿部はま子 るといふことです。二目解とか悪 解、脈節するには金属が続かれ、 の、背延配線で配き、肥繁等の歌、ありますから、お置の間に、吹鉦 り、は延配線で配き、肥繁等の歌、ありますから、お置の間に、吹鉦 り、ないなる年中記念説であ を服用しておけば豊節が続かれ、 で 上は體内に素敵して中海作用をす「肛臓りこんつたアルコール家を分ルは有効に利用されるが、それ以「果を護師しますので、爬行中や難

この「蘇利わかもと」は東京学院されるのです

効果

一般にまで思い物を熨す場なことに精神的に酸々の暗酔を別起し、子

で、よく、日降に親ひ置といふの りもないといふ縁な事は、屢々能を写く 體外に 出す 方がいへの と云はれる縁だ場合でも、何の障を写く 體外に 出す 方がいへの と云はれる縁だ場合でも、何の障 感がや二日解、あるひは似人造 縁に乾酒真後に飛ひておきませる。

あらゆる病氣の

人際にあつても、脂肪、蛋白 質に富む胸物性の食師、所謂美 食を獲り乍ら依渡されば、動版 を起すことは一般に知られてゐ を起すことは一般に知られてゐ

は すれば能った上に語を取れる事に でを出すに のを起すに のを起すに のを起すに のを起すに のを起すた。 のを起すに のがあります。 こんな など、などでよく 和ならに などのは たい などでよく 和なら は れる、 できなのと にいいは たい などでよく れる。 み、胃臓はじめ発身の治臓管を 「栗としたもので、種人の健素で ーフエという微生物を活性のま 、ホハモン作物質等な

内の影響を吸着、あるひは態化また「健戦わかもと」には、 野職災や浮胆等の場合には利尿効 せて無害にする働きもあり、 あるひは酸化さ

粉乳の正し

選び方。

化不良の原因となります性が強いため往々下期消 物乳類には砂樹や乳餌の 點に注意を拂ふことは ありますが、と事は腰膝 多葉に加へられたものが 母乳の代りに用ひられる 柳乳を選ぶ際に時に此の

て寒かれ

K

9 (8)

あ

()

b

d

ŧ

画・

-ED

b

决

はありません

いつも激刺とした若肌に整へる

素晴しい整肌クリームです。

皺や弛緩をひきしめ

て、餘分の脂肪や色素を解消し

であります 母様方にとつて大切な事

を取料とし、立に栄養関**高** 除くために、新鮮なる牛乳 **叉見を粉乳でお育てにない得られないが、新しく** 個粉乳にて思はしい支援 がなく、同化吸收極めて最 物を加へて調製されてある

胃腸病に悩まされ

産後に不眠と

しても撃門家の研究ではといることになりますが、それに 変色を避けて発食した方がい、 果が苦しいのです。 変色を避けて発食した方がい、 果が苦しいのです。 1000円 グラムのブルコー

組織内に入つたアルコール部を分

を「観)の原催で破裂されてるます。 ・ 大き三百餘、十年歌人の三種が一 ・ 大き三百餘、十年歌人の三種が一 ・ 日分値を五、六銭、小皇には二二二 ・ 大き、十年歌人の三種が一

かもと一の大きな字が私の弱い間を聞いて見ますと、「壁籠わ も居れ、軍分が朗らかにたつて 心を掴さしめて臭れました。職 けて服んである内に胸がスーと いつの間にか便盛も下利も頭痛

、側端。母盤も極くなつて人様 も感心される壁臓くことが出来 | カスカコールを尿として無地する| 対果が多少あるからで

進ます、母麗 は だらく 原催にけれども、胸かつかへて食事が く下順と 便能に 識まさました。 いも思えて困りました。 いも思えて困りました。 いも思えて なやまされ、夜分も安眠出来す かたも次第に左ばになりました Fの冬のこととて二ヶ月屋何も め試みましたが(中略)・うと新

堕か吸収されますので、爬破を汚有部なガスを誕生させ、それが勘

や疾病に犯され、衰弱量をするのでありますから、いろ/\の顕蝶器を選い動かす力が不足するわけ

電話本島五四二番 球 断 古 市 町

澤浦精米所飼料部

から

宮や組織が早く老女し、短爺に終してありますが、既に便秘島の弱い人は、肉籠の器

養鷄及家畜飼料 ((開加取公立)



を養ひ、航波を増加させ、膨弱な 優別な緊張を含んであて、監組職 述の縁にいの自発作用も活産形成の係るに「能験わかもと」は、即 カルシウム、ビタミンA・B・等 中には、アミノ酸、グリコーゲン あります。その上「錠棚わかとも 若要を整備することが出来るので たり便器の窓を防いで、自老、

農質をも取落して、天落を至うさ

せることが出来ます。

定價ニ十段・三十段

に身全・者行ージンヒのンバーダ度可樂 。すさを針の上以本白が

ごんな人が

長生する

いる所であります。

貴重成分を含有し

腸の弱い人は短命です

此の楽で早くお治 外用塗付薬 ます、軽いうちに 鼻や耳をいためる と直ぐ頭を悪くし

健心 康 を増

6

T

Ť

A

ħ

す へること!

サラリと気持よく肌に滑え込ん 完全な良質クリームです つも凝郁の 岩肌を!!

お化粧の S I Kt まつお肌を

粧効果を發揮します がいますから でであますから でであますから でであますから でであますから でであますから ででなってお肌にノ

三二 セン 一圏六セン

淡化粧下に

理想的

肌に最も適し、

それに非常

に明澄度がありますから

特に粒子の郷 能を發揮するのです。

さは東洋人の

れてゐますか

ら右の四大性

粒子に獨特の新工夫が施さ

店商吉政保久舖本年級

明るい自然美化粧が出來す 地脈の調子を巧みに生して

> 生かす八名個性美を ナブ 白 健 濃 肌 チェル 康 肌 レ ルン 色 色 色 オーリル一眼 Ē

(クズレヌ) の素晴

これで鮮やかな

オークルニ號

三二セン

自然美化粧が出来る!!

の素調

の素晴

の素晴

山上で岩下隊長の訓

森木府福野・熊務主任の提唱し 可じ 10世上 河野の第一歩にと

と時間を無駄使ひしてゐては
々が、意味のない志年會に金

めぐりコースにそふて午後六時

宗小門に着いたときはみんな

の宴。を聞いた、それから城壁

少七八營庭を中心に

近のため間上省では二十一日午

決潰した原因

疑問の點を調査に

5監督とも其の施設工事不備の背

がら下流住民に立退きを命じなかれて居り交供の際危援を豫知しな

Ø

森岡部脈横井中間の指揮する)名【新京廿一月周盟、山岡部縣地下

脱くことになった、朝鮮の弓道が

匪團を撃破

我軍一名戰死

拠り、その第一四職を廿二日午後

一時から京城京河町武色三道里で

V

臟器製治療劑

映温對与友質の定期領は庶よ語が

かねて変渉を重ねてるた學生写道

けふ手合せ

方に於て罷戯八十名と交職の後こ

融と初めての替成型であり、

火藥工場爆發

この老師な生曜城遺と新進の理中

华南大同郡大世面及川里二六二金

影

廿日午後十一時ころ一署では非常整殿線をはり職人を記

脅迫して三回强奪

人組の風流

名の観が得入り つおとなしく金を 水升さん。言、方へ學生服を着た三

数を得ました、金額に疑した大同と主人と普通、銀金三個を掘つて

八時立花即祝郷山監督局長、佐「騾に基さ外面は閉及総士で練り上」在のため額三省では二十一日午 | は昭和六年澄山、育陝と記士聡明| 現京芸師。左去澤ダム集節配因一分利鑑崇談長を急派した、同ダム

11年のサイレンに解放されサラ みた親しさらに帰ってゆく

> 衣を脱いで間に切けの何雄だら 腰に配ね、

> > を通っ人々は奇異の紀を投げる

場市国を進かに見おろしなどしがあり満位な初冬の至の下

治下隊長の訓し四時間の城壁

城分野の敷御羅戴式に引つづき、

歩天第七十八歳職? 開催C郷 MA これは長尾甲暦の時奈嘉蔵の脱電、廿二日午後一時半から薫山 | 流雷とも見いれるものである

新兵器を出し軍民一

致で華々しく

丁前梁如大音響と共に爆襲し死者のル地方ミラノの火災で温は廿日 【ローマ廿日間出 イタリー南手

月川海廿一名を出した

像肚烈の塩面を展開し

回新聞 廿一日午後四時十分ごろ家

般國民の對発動作を係與所で實施 兵器外側附近を原化すると共に一

の烽火をあげたと自員する職員 の有意義な職しで、生活取番々 節値にやゝ使ればしたものゝこ

対状態を提出し、軍民一致の服を対抗性を提出し、軍民一致の服を 午後二時から一時間に重り公肌さ

於て覆跡される大族至海雪の朝備

するほか、配理行機からの焼店弾

りを急く節動成で、けるの月紀日とそ度。

の危事が全部突然を使生して仕

元町万面

概! 心心

防隊の活躍をはじめ優殊で配飛行及ひ爆電投下による火災避生と消

と共に、對金次點を以て

銀を腐らせたが一位電には耐っ

智勝内の有客細菌は資何され、 電器と腐敗機師物は動外に排出され、胃と腸の特殊の気症、標度か 治療されますから、回復が単く今 までの胃翳壁と適つた効果が、よ く分ります。

脱因は東大門製造所の故障

△と岩下隊長から山頂の

公明らかさらに大学で話し

の奥様な一味に道

たし功成で主風九分九の途社【盟周南部】 所の難遭氏一ピヤジ 民・ピヤジ家行所師に基準で山路者の下原四佐、北は韓見に展天涯幸不、明直ルコラボ 来出世再月一年月、で発元も何、カゲキ中院加発人へ終時大九。伊斯所ケニに思理大左衛は (修修の使しピヤジ歩別たし落壁は渡島)るあでみ込見る

2つこと制明し、網络各種騙は事物を極度に重視してある

背後には思想的魔

こてこれを重視してゐる

刷東軍事態を重視

単腺腫に中央軍の使展によるもの

新定二十一日安井特派員發了由海 测学值院 長古田龍三安佐,剛智松尾第二大周,潛鹽等備院段水松水二大周,高不愿利軍

を破壊され、阿地してあた日本人十名と我に定改された、後限に戻した山海側が崩蜒では直もに収扱ったの出動を破壊され、阿地してあた日本人十名と我に定改された、後限に戻した山海側が崩蜒の圧跡出中陸けったのに、著されて甲種線が縦が出地で

側直路が昭和十四年三月州一日完一新市域を**建**び、絵間道路内閣地帯一京城府の特託品をはじめ、飛躍京この博覧館は日下着工中の曽田総一成を見るので、博覧館場は南田裏 | **※投圧表** を築すると同時に、

花の南部京城を飾る

四月一日から五月迄五十日 五十萬圓を投じて大規模に

山田少佐ら十五邦人

が兵に拉致さる

山海關から操縣にゆく途中列車から

無暴極する目黎保安隊員

石績を回顧し將來の飛躍に備へん

腹腔脈を開催すべく植々研究中であつたが、大陸の成案を得たので、愈よ明年度異算に調査質を組 任政區域指揮し市低地部級の質腦を見るなど類連の一途を辿りつくあるわ 治療と四部し更に将来への飛鞴に帰へ文化、教育、産業各方面 来る昭和十四年度は府創施行二十五局年に相當するので、

府制廿五周年の記念 一城の登鏡を辿めて観光京城として 期も花の四月一日から五月廿日ま もくまなく官僚に努める響で、肌 後援を印ぎ、強くしく

緊
能の度を加へて東たので、
態上 個要地駐田に伴ひその連絡は益々 つて基礎化した、抗病〇〇軍の各部皆、祇田軍部令官との脅勢によ 度規を見なかつた、國が過股南 安東省 監何縣 蘇特局質

東京大會を前

南一如の大方針により國境整備 ゐたが、人間の都合で今まで**そ** 終江及豆腐江町屋各主要地の警邏大、計館の共同戦線のため、 とは、事務の連絡上必要とされ 際公署に日深官正を配置する **週絡を闘る** 『真師は二十一日午後一時から

京城中央卸費市場新設の第二回書 中央市場 既設市場も 收容する

日系警士と對岸主要地に

問答申を行び同五時半過ぎ席曾し 他用係令その他につき各委員の語
財理解码で開館、収容方法、市場 なほ南大門市場、水産市場の

鑑と見られ、中央市場の十二年度容闘像から南市場の鑑良登業は宝 末までの意業期限にある中央物質

一、新在 原城市建筑一九北 市在 原城市建筑一九北 市在 医城市建筑一九北 市在 在 1 地 区 中 1 地 区 中 1 地 区 下 1 地 区 中 1 地 区 下 1 地 区 中 1 地 区 下 1 地 区 中 1 地 区 下 1 地 区 中 1 地 区 下 1 地 区 中 1 地 区 下 1 地 区 中 1 地

平南大同郡區會肥劳

平壤牛肉

京城旭町入口 味の店ほあぐらん 取本(2)1289番 同 4684番

す

きやき

前院署で容容の配揮及び遊の補明 一勢力を失つて居るものに對しては に検査を理解し火災季に備へる事 配合自修門に同し消火器の一番の四日から向上一週間、時内に

めてゐる |全省火器の絶跡を期すること

日本樂器會社出張所 (京城本町一·電本(2)三四八五

院病人婦城京

| 脚四九町墓末北府城京 | 三九八三本二八四本電

ルトクド問題 土頂衛医長駅

城武藤工 治泰本松

*次京日案内

日滿兩國間 送金便利

|欧洲から大量選手の半島通過、羅「として恥かしからぬスポーツ殿派||より、スポーツ||東京オリムピック大賣開催を機に||佐が投獄され"國際変化部市京城。||を封めせた

先づ州餘萬圓を投す

尿城府上本課から案を發表

持つ甘蔗形更かあるととて怨も成一年織世事業として慣行するのであ 輸スポーツ各部門の要求全部を 音を限易化して選金の便を闘つ 日南南國間は遠に南山間の頭便 振符及び帰出料金などは總で内國 か今回更に兩國間の鄭便振著門全 による送金制度を削削し来る十二 十二月より實施

徽沭

BE CHARGE THE AV

男 兒 性後一ヶ月瓜就正身 世代と

京城府光熙町一丁目一四四

告に限り特に資風にて規載す類均料金は即納の事但就職協類均料金は即納の事但就職協工十類匿名は一回毎に五十五號店字十五字語一回五行一五號店字十五字語

(C) 4(1.5)

第二日塩井醫院

告

新聞 全地の大田五成の内地の大名 (東海町) 丁目 では、東京町 丁目 では、東京市 東京町 一日 では、東京市 日本 (東京市 日本) 一日 では、東京市 日本 (東京市 日本) 「東京市 日本 (東京市 田本) 「東京市 日本 (東京市 田本) 「東京市 日本 (東京市 田本

酸便振器と同様であるばかりでな

のやうな敗修計温粱を膨表した

府としては全部皆行び切れの状態

情疑する、トラックは ート造りで、五十米に ・ 品さ共間、巾十湖の

質局に質視速進方を迎言したが、 いて種々研究思談を重ね、京城府 てから頒授場の新施設、郷光につ

ボーツに百パーセントの理解を

は切らずに治る/ 一切形態と療法」等量 東京新聞の事で、2000年間 全域発電イナッル側ゴム製作所

東京のような

製女 京城南大門 天 稲 脈 館 木人御来談下さい 番 脈 館

ストモリジン

治療院長ワイス博士創製

電話 食質節品券的人工手質的 明治的人口 電

|大黒南海堂|| 破荒元 (4株マル本 晦 店)|| 対 集 房|| 大阪市東国が18月三十日

(吸入療法 〈文献、既明曹継皇子〉

雜 付き町二ノ八 白木印券ま式宮町 株 社債株式漁和貿易政権が の対応募集店園及前継ぎで付取引 の対応募集店園及前継ぎで付取引 の対応要集店園及前継ぎで付取引 の対応要な行取引

特親棄

金給 特別立替

サンを服用すれば………… 急性の下痢、曜吐、脏痛も、永

時代の要求に籍み合利の近利等を 「京都本が 2 一、 会との世 3 英 生 合名の世 3 英 生 会との世 3 英 生

京城縣市位本五三天四等小林私で探偵音務所

判の新胃腸薬

めてゐるが今度は新春山岳の程等しい切り立てたやうな既い山頂を

院学智融の市技に努めること

明、一時影り けふの天氣

俄然多山征服の爭覇戰

が財戦

期を期して大阪商大山品部が赴東

は非常に使用されてみる

めて登山したもので冬の同山登破

消火器の檢査

氣象特報——

